

新約全書使徒ヨハナ第二書

一節三 聖靈の賜
二節三 聖靈の賜
三節三 聖靈の賜
四節三 聖靈の賜
五節三 聖靈の賜
六節三 聖靈の賜
七節三 聖靈の賜
八節三 聖靈の賜
九節三 聖靈の賜
十節三 聖靈の賜
十一節三 聖靈の賜
十二節三 聖靈の賜
十三節三 聖靈の賜
十四節三 聖靈の賜
十五節三 聖靈の賜
十六節三 聖靈の賜
十七節三 聖靈の賜
十八節三 聖靈の賜
十九節三 聖靈の賜
二十節三 聖靈の賜
二十一節三 聖靈の賜

新約全書使徒ヨハナ第二書

長老選を蒙れるクリスと其子等小書を贈る我誠にかんちちを愛す第われのみならず凡そ真理を識る者ハ亦みな爾曹を愛せり 爾曹を愛するは是れわれらの衷を在て恒に離れざる真理に縁てなり 爾曹の實を愛せし居て神すなごち父をよび父の子イエスキリストより原體と慈悲と平康とを受へし 〇われ爾の子等の中わが愛し所の父の命の如く眞理に遵ひて行む者の有を見て甚だ喜べり 〇クリスと我ハ爾を勸む互に相愛すべし此ハ新しき誠を書贈るに非ず即ち始より我儕の有る所の者なり 〇われら彼の誠を遵ひて行むは是すなごち愛なり 爾曹が始より聞じ如く愛も亦行むは是乃ち誠なり 〇我儕を誘ふ者おはく世に出イエスキリストの肉體と爲て臨り給へることを認めざす此誠に誘ふ者ハ乃ちキリストの敵なれば也 〇我ら我儕が勸勞し所の事を虚くせず全き實を得んが爲め自ら慎むべし 凡そキリストの教を居すして人を導く者ハ神を有すキリストの教に在る者ハ父および子を有り 人もし此教を有すして爾曹に來らば之を家小納ることを勿れ彼に安かきと言なかれ 彼も安かれといふ者ハ其を其惡行を興する也 〇我なは多端われども紙と墨とを以て爾曹小書かくるを欲す我儕は喜樂の充滿せん爲に爾曹お至り口を對て語らんとことを望む 爾の姉妹すなごち還を蒙れる者の見おんがに安を問ひアミニ

新約全書使徒約翰第一書終

人神を信せざる者ハ神を識者ぞす蓋神のろの子の爲に證せる證を信せざれば也 神ハ窮き生をもて我儕に賜ふ此生ハ乃ちろの子に在これ其證なり 神の子をもつ者ハ生を有るの子を有ざる者ハ生を有すわれ神の子の名を信する爾曹に此等の事を書贈るハ爾曹に窮なき生ある事を知しめんが爲なり 凡て我儕神の旨に合へる事を求れば彼がならず聽たは是れら彼ら何て驚く信する所なり 凡て我が求る所を彼の聽てぞ知れば我が求る所を彼に得ることを亦さる也 もし人ろの兄弟が死に至らざる罪を犯すを見ればなり然ぞ死に至らざる罪なり 凡て神に由て生れたる者は我儕ハ是る事を我儕ハ是る神を由て生れたる者ハ自ら守かの惡者これに觸てを爲さる也 我儕ハ神おつと聖世ハ惡者も服するを我儕ハ知また神の子すでお來り我儕が眞理者を識り智慧を我儕も賜るを知られら眞理者おわり即ち其子イエスキリストに在かれハ乃ち眞神また永を生なり 小子よ爾曹みづから慎みて僞像も遠かれアミニ

新約全書

一節三 聖靈の賜
二節三 聖靈の賜
三節三 聖靈の賜
四節三 聖靈の賜
五節三 聖靈の賜
六節三 聖靈の賜
七節三 聖靈の賜
八節三 聖靈の賜
九節三 聖靈の賜
十節三 聖靈の賜
十一節三 聖靈の賜
十二節三 聖靈の賜
十三節三 聖靈の賜
十四節三 聖靈の賜
十五節三 聖靈の賜
十六節三 聖靈の賜
十七節三 聖靈の賜
十八節三 聖靈の賜
十九節三 聖靈の賜
二十節三 聖靈の賜
二十一節三 聖靈の賜

新約全書使徒約翰第二書終

Faint, mostly illegible text in the right-hand column of the lower page, likely bleed-through from the reverse side.

新約全書使徒ヨハネ第三書

Main body of text in the right-hand column of the upper page, containing Japanese translations of biblical passages.

Vertical marginal notes on the right side of the upper page, including page numbers and other annotations.

長老愛するガヨス即ち我が誠に愛する所の者に書を贈る 愛する者よあんが靈魂の降んなる如くなん

出す者よ爾の愛する所の者に書を贈らんことを我れが兄弟來りて爾が真理を有ること即ち爾が真

理に行むことを證えられバ我甚だ喜べり わが子等の真理を行むを聞に愈れる大なる喜樂ハ我になし

愛する者よ爾の愛する兄弟にまて凡て行ふに忠信をもて行へり かれら教會の前に在て爾の愛を證せ

り爾もし神に合ふべく彼等の行路を助べ其行ふところ善なり 彼等の主の名の爲に出で異邦人より何を

も受ざれば也 是故に我儕かくの如き人を助くべし蓋われらも彼等と偕に真理に働く者どならん爲かり

われ曩に書を教會に贈りしが彼等の中に於て長たらんことを欲むデチラレバ我を納ざりヨ 我もし

往バ其行る所を心に記置ん彼ハ惡言をもて妄に我儕を論じ且これを以て足りとせず自ら兄弟を擽す其を

接んとする者をも妨げて教會より斷けたり 愛する者よ惡に效ふ勿れ即ち善に效へ善を行ふ者ハ神より

出惡を行ふ者ハ未だ神を見ざる也 デメラリチハ衆人ト真理とに證をせらる我儕も證をす我儕の證の眞

實なるを爾知り 我々は多くの事を爾に書贈らんを爲すも筆と墨とを以て書ふくるを欲す 速かに爾を見

て口を對へ諒らんことを望む願くハ爾安かれ多の友なんちの安を問り請なんち我に代て諸友あのに

安を問

足下に仆れたり。彼右の手を我に披て曰ける。懼るゝ勿れ。我ハ首先なり。我ハ生者なり。前に死し
 ことわり。願ふ我ハ世々窮なく生ん。アミソ我ハ陰府と死との鑰を持ち。あんぢ見し所および今ある所の
 こと後ある所の事を録すべし。其ハ爾が見し所の我。右の手の七の星。また七の金の燈臺の奧義なり。七の
 星ハ七の教會の使者。七の燈臺ハ七の教會あり。
 爾エベソの教會の使者に書かくるべし。右の手に七の星を執り。また七の金の燈臺の間に行む者かく
 の如く言と。曰われ。爾の行爲と勞苦と忍耐と。爾が惡人を容る能ざる。爾が曩に夫の自ら使徒なりと稱て
 實ハ使徒に非ざる者を誦みて。其妄言を見あらんとし。事と。爾が忍耐する事と。我名のために患難を忍びて
 倦ざりし事と。知。然と。我なんぢに責べき事あり。爾初時の愛を離れたり。なんぢ何處より墜じか。憶ひ
 悔改めて。初の工を行へ。然と。して。爾も。悔改め。す。バ。我なんぢに。到り。爾の燈臺を。其處より。取除かん。然と。も
 爾に。一の。取べき。事あり。ニコライ宗の。人の。行爲を。惡む。じ。と。なり。我も。之を。惡めり。耳ある者。ハ。靈の。諸教會。を
 いふ。所を。聽べし。勝を。うる。者に。ハ。我神の。樂園に。ある。生命の。樹の。實を。食ふ。事。を。許さん。なんぢ。又。ス。ル。ナ
 の。教會の。使者に。書かくる。べし。首先。未後の。もの。死て。また。生た。る。者。かく。の。如く。言と。曰われ。爾の。行爲。と。患難
 と。貧乏。と。を。受。る。貧乏。之。と。ハ。雖。も。爾ハ。富り。我。また。夫の。自ら。ユ。マ。ヤ。ハ。なり。と。稱て。實ハ。非ざる。サ。マ。ソ。の。會の。者
 の。言を。知り。なんぢ。將に。受んと。する。昔を。懼る。勿。れ。惡魔。また。に。爾曹。中の。者を。獄に。入て。爾曹。を。誦み
 んと。す。爾曹。十日の。わひ。及。患難。を受べし。爾。死に。至る。まで。忠告。な。れ。然。バ。我。生命の。泉を。爾に。賜へん。耳。ある。者
 ハ。靈の。諸教會。にいふ。所を。聽べし。勝を得。もの。ハ。第二の。死の。禍害。を受。す。爾。ベ。ル。カ。モの。教會の。使者に。書。さ
 くる。べし。爾刃の。利劍。をも。つ。者。かく。の。如く。言と。曰われ。知。ん。ぢ。が。住。處。ハ。即。ち。サ。マ。ソの。座位。の。ある。所。な。り

一節一
二節一
三節一
四節一
五節一
六節一
七節一
八節一
九節一
十節一
十一節一
十二節一
十三節一
十四節一
十五節一
十六節一
十七節一
十八節一
十九節一
二十節一
二十一節一
二十二節一
二十三節一
二十四節一
二十五節一
二十六節一
二十七節一
二十八節一
二十九節一
三十節一
三十一節一
三十二節一
三十三節一
三十四節一
三十五節一
三十六節一
三十七節一
三十八節一
三十九節一
四十節一
四十一節一
四十二節一
四十三節一
四十四節一
四十五節一
四十六節一
四十七節一
四十八節一
四十九節一
五十節一
五十一節一
五十二節一
五十三節一
五十四節一
五十五節一
五十六節一
五十七節一
五十八節一
五十九節一
六十節一
六十一節一
六十二節一
六十三節一
六十四節一
六十五節一
六十六節一
六十七節一
六十八節一
六十九節一
七十節一
七十一節一
七十二節一
七十三節一
七十四節一
七十五節一
七十六節一
七十七節一
七十八節一
七十九節一
八十節一
八十一節一
八十二節一
八十三節一
八十四節一
八十五節一
八十六節一
八十七節一
八十八節一
八十九節一
九十節一
九十一節一
九十二節一
九十三節一
九十四節一
九十五節一
九十六節一
九十七節一
九十八節一
九十九節一
百節一

爾ハ。固く。我名を。保つ。賢て。我。が。忠信の。證人。ア。ソ。ラ。バ。ン。爾曹。の中。サ。マ。ソ。の。住。ところ。に。て。殺されし。時。にも。爾。わ
 が。道。を。棄。ざ。り。き。然。と。も。我。なん。ぢ。に。懸。件。の。責。べき。事。あり。爾曹。の中。ハ。バ。ラ。ム。の。教。を。保。つ。者。あり。先。ハ。バ。ラ。ム。バ
 ラ。ム。を。教。て。禮。物。を。イ。ス。ラ。エ。ル。の。民。の。前。に。置。じ。し。む。即。ち。バ。ラ。ム。を。し。て。彼。等。に。偶。像。に。獻。じ。物。を。食。は。せ。茲。淫。を。行
 じ。め。たり。また。爾曹。の中。に。ニコライ宗の。教。を。保。つ。者。あり。此。教。ハ。我。が。惡。む。所。あり。あんぢ。悔。改。め。よ。然。と。さ
 り。バ。我。迅速。に。爾。を。到。り。我。の。口。の。劍。を。も。て。彼。等。と。戰。へん。耳。ある。者。ハ。靈。の。諸教會。にいふ。所を。聽べし。勝を。う
 る。者。に。ハ。我。滅。し。わ。る。べ。し。ナ。を。予。へ。ん。亦。白。石。の。上。に。新。し。き。名。を。記。して。之。に。守。へ。ん。之。を。受。る。者。の。外。ハ。此。名。を。知
 る。もの。な。し。爾。ア。ソ。ラ。バ。ン。の。教會の。使者。を。書。應。る。べし。神の。子。の。目。ハ。火焰。の。如く。其。足。ハ。眞。鍬。ハ。如。赤。る。者。か
 く。の。如く。言と。曰われ。爾の。行爲。と。愛。と。信。仰。と。服。從。と。忍。耐。と。を。知。す。バ。爾。が。後。に。爲。し。工。の。初。の。工。より。も。多。て
 ど。を。知。然。と。も。我。なん。ぢ。に。責。べき。事。あり。爾。ハ。か。の。自。ら。預。言。者。な。り。と。稱て。我。の。僕。を。教。て。之。を。惑。し。茲。淫。を。行
 じ。せ。偶。像。に。獻。じ。物。を。食。し。む。婦。イ。エ。サ。バ。ル。を。容。お。け。り。わ。れ。曾。て。此。女。を。悔。改。む。べ。き。機。を。予。た。れ。と。其。茲。淫
 を。悔。改。る。こと。を。爲。ざ。り。き。我。か。れ。を。牀。に。投。入。ん。又。か。れ。と。淫。する。者。も。若。し。の。行。を。悔。改。す。べ。し。我。これ。を。大。か
 る。苦。難。の中。に。投。入。ん。また。死。を。も。て。彼。の。婦。の。兒。女。を。殺。さん。之。に。因。て。諸教會。ハ。我。が。人。の。心。腸。を。察。り。爾曹。各
 各。の。行。に。循。ひ。て。報。を。爲。す。こと。を。知。ん。我。の。餘。の。ア。ソ。ラ。バ。ン。の。人。い。や。だ。此。教。を。受。す。所。謂。サ。マ。ソ。の。奧。義。を。未。だ
 識。ざる。爾曹。に。言。わ。れ。他。の。任。を。爾曹。に。負。せ。し。只。かん。ぢ。な。ら。有。と。ころ。の。者。を。我。の。行。を。保。つ。時。で。固。く。保。つ。べし。
 勝。を。得。て。終。わ。る。まで。我。の。命。せ。し。事。を。守。る。者。も。ハ。我。諸。那。の。民。を。治。む。る。權。威。を。賜。へ。ん。破。り。鐵。の。杖。を。も。て
 諸。那。の。民。を。牧。り。彼。等。を。陶。瓦。の。器。の。如く。碎。かん。我。わ。れ。父。より。受。た。る。權。威。の。如し。我。また。彼。に。曙。の。明星。を。賜
 へ。ん。耳。ある。者。ハ。靈の。諸教會。を。いふ。所を。聽べし。

一節一
二節一
三節一
四節一
五節一
六節一
七節一
八節一
九節一
十節一
十一節一
十二節一
十三節一
十四節一
十五節一
十六節一
十七節一
十八節一
十九節一
二十節一
二十一節一
二十二節一
二十三節一
二十四節一
二十五節一
二十六節一
二十七節一
二十八節一
二十九節一
三十節一
三十一節一
三十二節一
三十三節一
三十四節一
三十五節一
三十六節一
三十七節一
三十八節一
三十九節一
四十節一
四十一節一
四十二節一
四十三節一
四十四節一
四十五節一
四十六節一
四十七節一
四十八節一
四十九節一
五十節一
五十一節一
五十二節一
五十三節一
五十四節一
五十五節一
五十六節一
五十七節一
五十八節一
五十九節一
六十節一
六十一節一
六十二節一
六十三節一
六十四節一
六十五節一
六十六節一
六十七節一
六十八節一
六十九節一
七十節一
七十一節一
七十二節一
七十三節一
七十四節一
七十五節一
七十六節一
七十七節一
七十八節一
七十九節一
八十節一
八十一節一
八十二節一
八十三節一
八十四節一
八十五節一
八十六節一
八十七節一
八十八節一
八十九節一
九十節一
九十一節一
九十二節一
九十三節一
九十四節一
九十五節一
九十六節一
九十七節一
九十八節一
九十九節一
百節一

